

色彩語「白・黒」の比喩拡張であるメタファー、メトニミーとシネクドキをめぐってー中国語の場合

董玉婷 劉 羸
大阪府立大学（院） 京都大学（院）

要旨

本研究では、認知意味的アプローチを用いて、新聞や雑誌の書き言葉コーパスをもとに文章表現に注目し、色彩を表す中国語の「白・黒」が色彩ではなく性格、態度など抽象的な概念を意味したり（メタファー）、部分または全体との置換関係などを表したり（メトニミー）、類と種の関係を示したり（シネクドキ）する例を詳しく分類し、記述する。

キーワード：白黒、コーパス、メタファー、メトニミー、シネクドキ

1. はじめに

中国では、色彩語の意味をめぐって、規範文法のような伝統的な研究と、辞書に基づく色彩語の象徴的意味を論じる研究が主流になっている。言葉の背後に存在する言語主体の認知能力が無視されている。その結果、伝統的な辞書的意味やイメージを越えられず、色彩語の多義性をうまく説明することができない。

本研究では、従来の研究に反し、認知意味的アプローチを用いて「白・黒」が入っている文章表現に注目し、新聞や雑誌の書き言葉コーパスをもとに、色彩を表す「白・黒」が色彩ではなく性格、態度などの抽象的な概念を意味したり（メタファー）、部分または全体との置換関係などを示したり（メトニミー）、類と種の間関係を表したり（シネクドキ）する例について論じる。本研究は、「白・黒」という色彩語の背後にある言語主体の創造的な知識の現れである「比喩表現」がもたらすより詳しい意味・イメージとその拡張を分類、記述することを目的とした学習者の認知・運用メカニズムを重視した研究である。

2. 先行研究とその問題点

色彩語は、もともと視覚的なものを表すために用いられるが、人間は昔から、「色彩」によって感覚的なイメージなどを表してきた。特に、比喩表現を通じて、「色彩」の元の視覚領域を超え、さまざまな意味をもたらす。この場合、外国語学習者にとって、大変理解しにくいところであると考えられる。しかし、色彩語「白・黒」の比喩表現に焦

点を当て、中国語学習者のためにうまくまとめられたものは、まだ見られていない。「白・黒」の比喻について中国国内で出版されたものとしては、陳(2007)、楊(2007)、張・杜(2007)などが挙げられるが、陳(2007)と楊(2007)においては、共に以下のような問題点が見られる。

- 中国語の色彩語には触れる程度で、「白」と「黒」について言えば例文と解釈が少なく、しかも恣意的に挙げられている。それに、意味拡張や意味的関連性の提示が不鮮明である。
- また、メタファーとメトニミーとの混同や、例文の不適切さなどの問題が見られる。たとえば、楊(2007)では「白領」(ホワイトカラー)というメトニミーをメタファーに間違えて分析したり、陳(2007)では「黒玫瑰」(黒バラ)における「バラ」と「美人」のメタファーを「黒」のメタファーに間違えたりするといった誤った分析がまだたくさん残っている。

張・杜(2007)では、「白・黒」の意味拡張を図示し、拡張のプロセスとしてのメタファーとメトニミーを明示しているが、一方、辞書のみを参考し、コーパスに基づいていないため、「白・黒」の意味研究が伝統的な範囲に止まっている。

3. 理論的枠組み

本発表は、認知意味論の枠組みで、瀬戸(1995, 2005, 2008)のメタファー、メトニミーとシネクドキの区切り方に準じて分析する。メタファーとは、二つのドメインの間の写像である。写像する側を素材領域(source domain)、写像される側を目標領域(target domain)と呼ぶ。メタファーはソースからターゲットへの写像である、(例えば、arrival point→conclusion)。メトニミーは全体と部分の隣接性を強調し、実際の発話場面の中で話してにとって際立ちが高い(salient)ものを参照点(reference point)として、世界中での隣接関係に基づいて意図する修辞である、(例えば、受話器→電話)。伝統的には、シネクドキはメトニミーの一種とされるが、物と物との隣接関係をベースとするメトニミーとは異なり、シネクドキはカテゴリー間の関係を表すため、一つにまとめてはいけない。本研究では、シネクドキを独立に取り扱う。

それに、Langacker(1987, 1991, 2008)、山梨(2000)、吉村(2004)の多義性理論を参考し、「白・黒」の意味拡張のプロセスである比喻表現の特徴を述べる。

4. 分析

伝統的な辞書的意味を踏まえ、関西大学の現代中国語コーパスと北京大学 CCL 現代漢

語コーパスを使用し、新聞、雑誌及び書籍などの書き言葉の電子化データから例文を網羅的に採集した。それによって、より数多くの文章表現を採集することができた。辞書における現代中国語の「白・黒」の意味と本研究の意味の数を比べると、次の表のようになる。(名字、地名の省略及び古典漢文は除いてある。)

出典	黒	白
中日大辞典	6	14
現代漢語詞典	5	14
新華字典	9	17
張・杜 (2007)	9	13
本研究	25	28

次は、「白・黒」の多義性を成すメタファー、メトニミーとシネクドキの具体例を見ていく：

①「白」の意味拡張：

「白」の基本義（プロトタイプの意味）が牛乳、塩や雪のような色であり、もともと具体的な「色」を意味する。たとえば、「白雪（白い雪）」、「白面（小麦粉）」など。その「白」という色からの視覚上のメトニミー的拡張事例として、「職業」、「葬式」、「年寄り」などがある。

1. 雪のような色（基本義）：白雪（白い雪）、白面（小麦粉）

1.1 職業（メトニミー）：白領（ホワイトカラー）、白大褂（お医者さん）

1.2 葬式（メトニミー）：白事（葬式）、穿白（喪服を着る）

1.3 年寄り、年配の方（メトニミー）：白发送黑发, 苦煞天下父母心（年配の両親が若いお子さんと死に別れる）

1.4 （政治的）反動を表す（メトニミー）：白区（反動側の地区）、白军（反動の軍隊）

1.5 政府の公式報告書（メトニミー）：白皮书（白書）

メトニミーとメタファー、メトニミーとシネクドキとの接点も見られる。たとえば、以下のような表現ではまず、部分・全体のメトニミー的拡張が行われ、それからメタファー的拡張の結果、さまざまな意味がもたらされている。本稿では、このような拡張を以後（メト-メタ）と記す。

1.6 白い顔色において：

1.6.1 驚きや恐怖で感情、気分が変わる（メト-メタ）：脸都吓白了（怖くて顔色が青白くなる）

1.6.2 外見だけがよくても、中身・経験のない人（メト-メタ）：小白脸（中身のない人）、白面书生（経験のない学生）

1.6.3 冷たい人、厳しい人（メトメタ）：紅臉白臉（優しい人と厳しい人）

1.6.4 腹黒い人、陰謀家（メトメタ）：黒臉白臉（正直な人と腹黒い人）

以上の例では、部分的な「白い顔」が視覚のメトニミー的拡張を経て、人全体を換喩し、さらに、メタファーとして用いられ、それぞれの異なった意味を表している。顔色だけではなく、1.7のように、瞳以外の目の白い部分で全体の目を換喩し、「白眼」というメタファーを使って「差別」を表すこともある。

1.7 差別、軽蔑的態度（メトメタ）：遭人白眼儿（人からのけ者にされる）

また、メトニミーとシネクドキの接点が見られる例もある。（以後（メトシネ）で表す。）

1.8 白系へ（？）の拡張（メトシネ）：白色家電（労働や負担を減らす家電、洗濯機、電子レンジなどの色が白に近い家電） 白色食品（豆腐、チーズなどの高タンパク質、高脂肪食品）

これらの例では、類（上位カテゴリー）である「白色家電」や「白色食品」などを用いて、「冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ」や「豆腐、チーズ、牛乳」などの種（下位カテゴリー）を表していることに注目する必要がある。

以上、「白」の基本義（プロトタイプの意味）からの拡張事例を記述した。次は、「明るい」と「無色透明」といった周辺の意味（拡張事例）について述べる。

2. 明るい、輝く（メトニミー）：青天白日（からりと晴れて太陽が輝いているさま）、白光（白い光）

2.1 昼間（メタファー）：没黒没白（夜となく昼となく）、白天（昼間）

2.2 明らか、はっきりしている（メタファー）：明白（はっきりしている）、一清二白（極めてはっきりしている）

2.2.1 説明、明らかに話す（メタファー）：自白（自白）告白（告白）

2.2.2 口語、話し言葉（メタファー）：白話（hua）文（口語、話し言葉の文章）

2.2.3 簡単、率直である（メタファー）：说白了（簡単に言えば）、坦白地说（率直に言えば）

2.2.4 方言（メタファー）：苏白（蘇州の方言）

以下の例では、「白」の「無色透明」という意味がメタファー的拡張を受け、「キレイ」、「何もない」などの意味を担っている。

3. 無色、透明（メトニミー）：白醋（お酢）、白酒（お酒）

3.1 キレイ、汚れがない（メトメタ）：白浄（キレイ）、洗白了（キレイに洗った）

3.1.1 公正・正確・善良（メタファー）：白道（公正な道やルート） 黑白不分（正と邪、是と非、善と悪をはっきりしない）

3.2 何も加えない、何もない、空きの（空の？）（メタファー）：交白卷（白紙の答え

を出す)、白手起家(徒手空拳から家を興す)

3.2.1 でたらめな、いい加減な、根拠のない(メタファー):白扯(でたらめを言う)、白话(huo)(でたらめを言う)

3.2.2 むだである(メタファー):白费(むだに費やす)、白搭(むだになる)

3.2.3 ただで(メタファー):白吃白喝(ただで食べたり飲んだりする)、白给(ただであげる)

3.2.4 薄い味(料理)(メタファー):菜做得白了(料理の味が薄くてきている)、白煮(薄味煮)

3.2.5 誤字(メタファー):写白字(誤字を書く)

以上は「白」の多義性について論じたもので、次に「黒」の多義性について述べることにする。

②「黒」の意味拡張:

「黒」の基本義(プロトタイプの意味)が視覚色彩領域において、墨のような色を意味する。「黒」からの拡張事例を挙げると:

1. 墨のような色(基本義):黒板(黑板)

1.1 若い人(メトニミー):白发送黑发,苦煞天下父母心(年配の両親が若いお子さんと死に別れる)

1.2 黒い顔色において

1.2.1 (驚いて)青白い顔になる(メトメタ):央视起火后台长当时脸都黑了(中央テレビの火災で局長が当時青い顔をしている)

1.2.2 公正な人(メトメタ):唱黑脸(公正な人)

1.2.3 豪快な人(メトメタ):黑脸汉子(豪快な人)

1.3 黒系への(?)拡張(メトシネ):黒色家电(色が黒に近い、テレビ、コンポなどのエンターテイメント家電)、黒色食品(黒豆、黒ゴマなど)

1.4 番狂わせを起こす存在(メトメタ):黒马(ダークホース)

1.5 利益が出ること(メトメタ):黒字(黒字) 收黒(株価上昇して終了すること)
以上は、「黒」の基本義(プロトタイプの意味)からの拡張事例である。

次に、「暗い、光がない」と「不潔」などの周边的意味(拡張事例)を挙げる。「黒」が視覚領域において色彩から明暗へとメトニミー的拡張をした例である。

2. 暗い、光がない(メトニミー):黒牢(暗い牢獄) 摸黒(暗いやみの中で探る)

2.1 夜(メタファー):起早贪黒(朝早く起きて夜遅く寝る)、没黒没白(夜となく昼となく)

2.2 (お金などが)漏れる穴(メタファー):金融黒洞(お金の穴)、管理黒洞(管理

上の穴)

2.3 見込みのない行き詰まり (メタファー) : 一条道走到黑 (行き詰まりまで進んでしまう)

2.4 (風雨が) 激しい (メタファー) : 黒風 (暴風)、黒浪 (荒波)

2.5 アイロニー、皮肉な (メタファー) : 黒色幽默 (皮肉なユーモア)、黒色笑话 (皮肉な笑い話)

2.6 さっぱりわからない (メタファー) : 人生地不熟, 眼前一抹 (ma) 黒 (目の前に知った人もいなく道もよく分からない)

2.7 闇の、秘密の、違法な (メタファー) : 黒幕 (黒幕)、黒貨 (密輸品、やみ商品)

2.7.1 反動・反社会的な (メタファー) : 黒帮 (反動組織)、黒社会 (反社会組織)

2.7.2 隠す、騙す (メタファー) : 把钱黑了 (お金を隠し取った)、又被他黑了 (また彼に騙された)

2.8 不幸な、悲しい (メタファー) : 黒色星期五 (不幸な金曜日)、黒色字眼 (不幸な文字、特に死者を哀悼する文字を指す)

「黒」は、さらに「汚い、不潔」という意味に拡張し、最後には道徳的な分野にまで及び「悪い、悪」などを意味するようになる。

3. 汚い、不潔を表す (メトニミー) : 把衣服弄黑了 (服を汚した)

3.1 悪い、悪 (メタファー) : 黒心 (腹黒い)、天下乌鸦一般黒 (世の中の悪者は必ず悪事を行う)

3.2 標準、規格に達していない (メタファー) : 挂黒牌 (標準レベルに達していない企業に対する処罰)

3.3 暴力、恐怖 (メタファー) : 黒镜头 (暴力・恐怖のシーン) 黒色汚染 (暴力や恐怖がもたらす影響)

3.4 恥、罪、不名誉 (メタファー) : 抹黒 (恥をかく、泥を塗る) 背黒鍋 (他人の罪をかぶる)

3.5 過ち、誤り (メタファー) : 不分黒白 (是と非を区別しない)

以上、「黒」の基本義 (プロトタイプの意味) および拡張事例を記述した。

5. 中国語教育への発想

今までの中国語教育における色彩語の内容は恣意的であり、よくまとまったものをあまり見られていない。学習者の要求を無視し、効率的な勉強ができない。本研究は、色彩語「白・黒」の比喩表現を整理し、一番具象度が高いカテゴリーから、だんだん抽象度が高まるカテゴリーへの手法を採用し、なぜ中国語話者がこのように使うかを明らか

にした。「白・黒」の多義性は恣意的に作られではなく、話者の認知方式の反映と考えられるため、学習者に教えれば、単なる暗記の変わりに、楽しく覚えらる。

6. おわりに

本研究で「白・黒」の比喩表現がもたらすより詳しい意味・イメージとその拡張を分類し記述することができた。言葉の形式的な意味の背後にある言語主体の認知と運用のメカニズムを明らかにし、「白・黒」の多義性を可能とする言語主体の創造的な知識を中国語教育に生かせば、学習者重視の言語教育のアプローチが可能になる。今後は、「紅」、「黄」、「青」、「緑」などを含む、「白」と「黒」以外の中国語色彩語の研究が望まれる。

用例出典

関西大学・現代中国語コーパス <http://china.fl.kansai-u.ac.jp>

北京大学CCL現代漢語コーパス http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp

『中日大辞典』(1987) 増訂第二版 大修館書店

『現代漢語詞典』(2002) 第四版 中国社会科学院语言研究所词典编辑室

『新華字典』ネット版 <http://xh.5156edu.com>

参考文献

陳 家旭 (2007) 「英汉基本颜色隐喻化认知对比」『英汉隐喻认知对比研究』学林出版社 pp. 168-184

Lakoff, G. and Johnson, M. (1980) *Metaphors We Live by*. The University of Chicago Press.

Lakoff, George. (1987) *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. The University of Chicago Press.

Langacker, Ronald W. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar. Vol. I. Theoretical Prerequisites*. Stanford University Press.

Langacker, Ronald W. (1991) *Foundations of Cognitive Grammar. Vol. II. Descriptive Application*. Stanford University Press.

Langacker, Ronald W. (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*. Oxford University Press.

坂本・古牧 (2005) 「心理実験とコーパスを用いた色彩語共感覚メタファーの表現効果

- 研究』『日本認知言語学会論文集』 第5巻 pp.106-116
- 瀬戸賢一 (1997) 『認識のレトリック』 海鳴社
- 瀬戸賢一 (2005) 『よくわかる比喩—ことばの根っこをもっと知ろう』 研究社
- 瀬戸賢一・ジョン・R・テイラー (2008) 『認知文法のエッセンス』 大修館書店
- 谷口一美 (2003) 『認知意味論の新展開—メタファーとメトニミー』 研究社
- 山梨正明 (1988) 『比喩と理解』 東京大学出版会
- 山梨正明 (2000) 『認知言語学原理』 くろしお出版
- 楊 惠茹 (2007) 「對外汉语教学中的颜色隐喻输入」 『绵阳师范学院学报』 Vol. 26 No. 1
pp. 4-7
- 吉村公宏 (2004) 『はじめての認知言語学』 研究社
- 張 祝祥・杜凤蘭 (2007) 「英汉基本颜色词“黑”、“白”的认知语义分析」 『外语与
外语教学』 Vol. 218 No. 5 pp. 47-50